

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年10月26日

AIと材料の融合により未来の社会を支える会社へ 株式会社フローディアへの出資について

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）は、自社の事業展開にAIを活用することにより、将来の人々のQOL向上に貢献することを目指し、このたび、株式会社フローディア（本社：東京都小平市、社長：奥山 幸祐）に出資しました。

フローディアは、近年加速しているエッジコンピューティング(*1)への活用が可能で、AIによるビッグデータの効率的な処理に不可欠な不揮発性メモリ(*2)の設計、開発、販売、コンサルティングを手掛けており、このたびの出資に伴い、当社より1名が同社取締役役に就任するとともに、関連技術の取得に向けて、当社より技術者1名を派遣することとしました。

(*1)エッジコンピューティング：スマートフォンなどのIoT機器を用いたり、利用者に近いエリアのネットワークにサーバを分散配置するなど、効率的に情報を処理する仕組み。

(*2)不揮発性メモリ：電源供給がない状態でも記憶を保持する媒体のこと。

近年、持続可能な社会の実現に向けて、CASE(*3)やMaaS(*4)といった将来の自動車像や、より安全・安心で快適な暮らしを実現するスマートホームなど、生活製品に知性をもたらすという新たな概念が登場しており、IoTやAIの市場規模は年々拡大しています。

帝人は、このような未来の社会のニーズに対応するため、超高齢化社会におけるモビリティソリューションに向けた開発などを進めています。一方、フローディアは設立以来、半導体IPプロバイダとして、従来よりも大幅に消費電力を抑え、低コストで耐熱性に優れた組込型不揮発性メモリを開発し、電子機器メーカー、半導体デバイスメーカーに採用されています。また、自社メモリの特長を活かし、AI演算処理における消費電力を大幅に低減する半導体デバイスの開発も進めています。

(*3)CASE：ダイムラーのCEOであるディーター・ツェツェ氏が、自動車業界が将来の進むべき方向性として2016年に提唱したもので、Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動化）の頭文字をとったもの。

(*4)MaaS：Mobility as a Serviceの略で、情報通信技術を活用することによりあらゆる交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。

こうした中で当社は、軽量性や強度など、これまでマテリアルにより提供してきた高付加価値に加え、将来の人々の生活製品の仕様や機能の向上に必要なビッグデータを演算・解析する技術を取得することで、より幅広い付加価値を提供できる可能性を模索していました。これに対し、フローディアが開発する半導体デバイスが、クラウドを介する必要のない、エッジコンピューティングにおけるAI演算処理を可能にできることから、その優位性を高く評価し、このたび出資することとしました。

帝人は、このたびの出資、および取締役・技術者の派遣により、フローディアがこれまで培ってきた不揮発性メモリに関する開発・設計技術と、当社の素材サプライヤーとしての知見を融合し、2025年までの実用化を目指して、未来の生活製品に求められるAIチップなどの共同開発を推進していきます。具体的には、車載に向けた自立型の自動運転や車体の安全性管理などの用途を開発する他、少子高齢化・健康志向に向けたソリューションの開発も検討していきます。

帝人グループは、持続可能な開発目標（SDGs）が示すグローバルな社会課題に対してたゆまぬ挑戦を続け、未来の人々のQOL向上につながる新たな価値を創造することで、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」を目指していきます。

【 参 考 ： フローディアの概要 】

社 名	株式会社フローディア
本社所在地	東京都小平市
設 立	2011年4月25日
事業内容	不揮発性メモリなどの設計、開発、販売、コンサルティング
代 表 者	代表取締役社長 CEO 奥山 幸祐
資 本 金	355百万円

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：(03)3506-4055